

1 事業の成果

NPO法人として7年が経過して、継続して会員の高齢化・世代交代等の課題はあるが、放置竹林整備作業、伐採竹の有効活用、タケノコの伝統栽培の継承を通じ、長岡京市の竹林美化活動とその啓発活動に寄与することができた。

2 事業の実施に関する事項～特定非営利活動に係る事業

① 事業名 放置竹林整備事業

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 金ヶ原竹林及びこらさ竹林	延べ175名	企業 45名	26千円
事業内容	【目的】 放置竹林を整備し、水資源の涵養、竹林の環境美化活動に貢献する。			
	【内容】 本年度は野山竹林の間伐作業が終わり、地主様に管理していただくよう返却し、新たにこらさ竹林(7千㎡)の管理を開始し、12.6千㎡を管理する。 維持は枯れ竹処理と間伐処理を主に実施している。(たけのこ畑4千㎡は除く) 1. 長法寺B竹林～バス通りに面する。面積3千㎡ 長法寺B竹林は作業を開始してから7年を経過し、現在は定期的の間伐と伐採竹焼却作業とタケノコの処理を実施、景観を維持している。 2. 長法寺C竹林～面積1千㎡ 長法寺C竹林も作業を開始してから7年を経過し、現在は定期的の間伐とタケノコの処理を実施している。 3. こらさ竹林～バス通りに面する。面積7千㎡ 景観を良くするため、枯れ竹の搬出と、一部の伐採竹の焼却作業を開始するが、枯れ竹処理には3年は必要と思われる。 竹炭は地元農家の土地改良に使用。この竹林には真竹が発生しているが、孟宗竹に侵食されているため、真竹を残す活動を実施。 4. 金ヶ原竹林～面積1.6千㎡ 金ヶ原竹林は2年目に入り、枯れ竹搬出と青竹200本を間伐し、地元企業の節電対策用に提供し、その竹をすかれとして有効利用していただいた。 【活動の成果と課題】 管理竹林整備面積12.6千㎡になり、水資源の涵養にも寄与し、周辺環境美化ができ、市住民より感謝されている。 現在、作業者の高齢化で、会員数が減少している。活動を継続するため、会員を増やし若返りを図っていくことが急務である。 企業のボランティアの参加しやすい動機つくりのため長岡京市と協賛でボランティア養成講座などのイベント等を行い、会員を増やしていきたい。			

② 事業名 伐採竹の有効活用

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 野山竹林及び金ヶ原竹林	延べ175名	企業 45名	35千円
事業 内 容	<p>【目的】 放置竹林の整備に伴う、大量の伐採竹の処理を焼却以外の有効利用の模索。</p> <p>【内容】 エコ活動支援団体の協力を得て、大量の伐採竹を供給できた。 竹の利用用途拡大検討として、竹炭を有機農法に試行。</p> <p>① ツバキエマソン殿に青竹を提供(6/14) 企業で青竹を、竹をヨシズとして使用、節電対策用に活用する取り組みに協賛し、昨年 に引き続き伐採竹(5m)を200本提供した。 伐採処理は竹の学校が担当し、運搬は工場サイドで負担。</p> <p>② 立命館中高校殿に青竹を提供(9/20) 長岡京市に移転してきた立命館中高校の文化祭用(竹の鳥居製作)に青竹を提供。 長法寺竹林から竹材(2.8m×約φ12cm)60本を伐採・提供した。 共同で、長法寺竹林で間伐を実施、学生と交流した。</p> <p>③ 長岡京市ボランティア養成講座による竹林整備実施(3/21) 長法寺竹林の管理状態を見学後、こらさ竹林で伐採、枝払いを指導した。</p> <p>④ めぐみ幼稚園卒園者の記念品に竹遊具を制作(01/24・02/14・25) 長岡京市の竹を使った贈り物として、相談があり、材料原価で竹馬を35組、竹ポックリ を30組製作。竹の伐採・組立を父兄と共同作業を通じ交流した。</p> <p>⑤ 三菱電機労組と共同でこらさ竹林整備(5/17) 大手の環境活動としてこらさ竹林西域を管理しているが、年一度の伐採作業に合わ せて共同作業した。現役組のパワーはさすがですが、回数が・・・。</p> <p>⑥ タイ民族竹楽器を和竹で試作(～5/26) タイ音楽家の要請により、アンガルの発生音の理論と孟宗竹での試作を支援、新た な竹の活用と竹の共鳴管の理論をトライした。</p> <p>⑦ 竹の利用用途拡大の検討継続 竹炭を土の改良に利用するため、竹炭を粉砕することを試行。粉砕は竹チップパー、家 庭の園芸用粉砕機で5mm程度に粉砕できるテストも継続。</p> <p>【活動の成果と課題】 竹林内での積み上げや、焼却場へ搬送の必要もなく、焼却せずに大量の伐採竹を消 化できた。 ツバキエマソン殿のように、継続して利用いただけるのが理想だが、来季は工場の工 事で、休止することになっており、大口消費先が課題。</p> <p>竹をチップ化してプラスチック材料として活用することを、協業で検討して行くとも に、竹チップパーの導入も検討継続する。</p>			

③ 事業名 たけのこ伝統栽培の保存継承

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市 長法稻荷神社隣接竹林	約1000人	119名 (エコグループ)	108千円
事業 内 容	<p>【目的】 京都式軟化栽培法の継承により、美しい竹林を維持。 エコツアー受け入れによって、竹林を開放し、美化活動への啓発に寄与する。</p> <p>【内容】 対象はタケノコ畑となった管理竹林の長法寺 A 竹林～面積4千㎡ 一連の作業(新竹の先止め・下草刈・施肥・ワラ敷き・土入れ)を実施。 今年度は不作の年ということで、例年の2割減の作柄となった。 収穫したタケノコ(約 1300kg)は会員・エコツアー体験者等に頒布した。 タケノコ栽培が環境保全・水資源涵養につながることをエコツアー体験者に「竹林講座」の講義で説明。</p> <p>【活動の成果と課題】 会員・エコツアー体験者に安価でタケノコを頒布することで活動を維持。 会員には昨年同様に安価でタケノコを頒布出来た。 年々高齢化していく中での作業(土入れの運搬作業)の負担の対策として、今年は土入れ作業にバックホウを投入して、年内に終了することができた。ただ、作業密度が高くなり、1日作業を2日作業にすることを検討する。</p> <p>— 昨年のNHKプレミアムの「美の壺・竹林」が2度目の再放送や、NHK第一ラジオの旅番組「土曜ほっとタイム」、MBSテレビの「お昼のせやねん！長岡京市編」の取材が長法寺A竹林で行われたように、マスコミの期待に応えられる景観と、素晴らしい京タケノコが収穫できる竹林(タケノコ畑)となった。 長岡京市の観光と放置竹林問題の提起など、貢献が出来ている。</p>			

④ 事業名 地域活動／竹工芸・竹林のオープン

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
農閑期の毎土曜日 (6～9、1～3月) 9時～12時	長岡京市 長法寺竹林の作業場	約200人	展示会に来場の 一般の市民 約1000人	34千円
事業 内 容	<p>【目的】 竹林の伐採竹の孟宗竹を使った竹行灯等の製作、および作品を市内イベントで展示、また、各種団体、個人の見学の受け入れ、竹林作業の体験を受け入れ等で地域活動に貢献して、啓発活動に寄与する。</p> <p>【内容】 主に竹林の農閑期を利用して、定期活動日に会員有志で活動。 本年度の各種地域活動への参加、イベントへの製作品展示と、見学受け入れ等は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・06/21 (土) ツバキエマソン用竹すだれ出荷～金ヶ原竹林 ・07/14 (月) 京都市七夕用竹枝準備と出荷～A 竹林 ・08/09 (土) 三豊市竹伐採事業研究会訪問～こらさ・A 竹林 ・09/03 (水) 長岡京市インターンシップ生受入～A 竹林 ・09/17 (水) 立命館中高校部見学会 ・09/20 (土) ・09/21 (日) 長岡中学野球部応援～長4中グラウンド ・09/20 (土) 立命館高校の文化祭用の竹の伐採作業応援～A・C 竹林 ・09/25 (木) 高野竹工見学会 ・10/11 (土) 竹あそびに参画・出展～長岡公園 ・10/25 (土) 京都工織大学生訪問～A 竹林 ・10/28 (火) 市役所農林振興課へ伐採竹提供～こらさ竹林 ・11/07 (金) 長岡中学1学年の総合学習講師～長岡K中学 ・11/15 (土) 長岡京市環境フェア出展～中央公民館 ・01/24 (土) ・02/14 (土) ・02/25 (水) めぐみ幼稚園と竹馬製作～A 竹林 ・02/16 (月) 長岡京市竹林整備関係団体交流会～市役所 ・02/24 (火) ・05/26 (火) アンガルン製作指導～本町アートカフェ ・03/06 (金) 明和カレンダー訪問～A 竹林 ・03/21 (土) 長岡京市森林ボランティア養成講座受入～A 竹林 ・03/25 (水) 「美の壺 竹林編」アンコール放送 (BS3) ・04/04 (土) NHK「土曜ホットタイム」取材対応～A 竹林 ・04/07 (火) MBS「せやねん！」取材対応～A 竹林 ・04/07 (火) MBS「美の京都遺産」撮影対応～近くの竹林 ・04/22 (水) ・05/09 (土) 市内保育園のタケノコ掘り ・05/17 (日) 三菱労組環境活動協業～こらさ竹林 <p>【活動の成果と課題】 竹行燈作品はレベル・芸術性の評価も高く、展示会で知名度も高くなり、竹の学校の活動と、伐採竹を活用する竹の文化活動の広報に貢献できた。 竹行燈の製作指導者が体調不良のため、今後の進め方が難しくなっている。</p> <p>長岡京市のイベント(特に竹あそび・環境フェア)や、インターネットを通じて、見学・調査訪問等が増加し、広報活動が実ってきている。 ただし、会員数は増加せず、広報の重点を会員募集に置くようにしていく。</p>			